

愛西市外国語指導助手派遣事業プロポーザル審査講評

愛西市外国語指導助手派遣事業特定審査会

会長 鈴木 睦

1. 選定経緯

令和4年11月24日に愛西市教育委員会教育部長より8名に対して本プロポーザルの特定審査会委員の依頼があり、その後、3回にわたる特定審査会で審議を行い、業者を特定した。

(特定審査会委員)

会長	愛西市副市長	鈴木 睦
委員	愛西市企画政策部参事	伊藤 孝一
委員	愛西市立永和小学校校長	吉田 奈緒美
委員	愛西市立佐織西中学校教頭	久留宮 光成
委員	愛西市立永和小学校教務主任	中山 久美
委員	愛西市立永和中学校校務主任	荒川 めぐみ
委員	愛西市総務部財政課長	堀田 毅
委員	愛西市企画政策部経営企画課長	井戸田 悦孝

(事務局)

愛西市教育部学校教育課

(1) 第1回特定審査会（令和4年12月8日）

第1回特定審査会では、委員の互選により、鈴木睦委員が会長に選出された。その後、愛西市外国語指導助手派遣事業プロポーザル実施要領（案）等について審議した。また、今後の特定審査会スケジュールについて審議した。

(2) 第2回特定審査会（令和5年1月30日）

提出された5者（A者・B者・C者・D者・E者）の参加申込書等により参加資格要件について審議し、その結果、5者とも第2次審査参加者として選定した。

また、①会社の経営状況等、②会社の業務実績の2点について第1次審査を行った。審査方法は、評価基準に従ってあらかじめ事務局が採点した結果について、これを了承した。

(3) 第3回特定審査会（令和5年2月24日）

非公開の場において、5者による個別プレゼンテーション及びヒアリングを実施した。終了後、業務提案書の内容とプレゼンテーション及びヒアリングの総合評価による第2次審査を行い、各審査委員が最終的な評価をし、集計を行

った。なお、業務提案書のうち見積額については、評価基準に従ってあらかじめ事務局が採点した結果について、これを了承した。

集計結果をもとに最終的な審議を行い、最高得点の者（A者）を最優秀者として特定、次位の者（D者）を次点者とした。

2. 選定講評

愛西市では、愛西市立小中学校の愛西市外国語指導助手を民間業者より派遣し、事業実施してきた。この度、現在の派遣事業者の契約満了に伴い、新たに派遣事業者を募ることとした。

その後、特定審査会では、公募型プロポーザル方式にて愛西市外国語指導助手派遣事業に最も適した提案ができる優れた受託者を選定することとした。

第1次審査では、本プロポーザルに参加する資格要件について審議するとともに、会社の経営状況や業務実績について評価した。参加申込書等を提出した5者とも参加資格要件を満たしており、5者を第2次審査の参加者として選定した。

第2次審査では、提出された業務提案書をもとに、見積額について書類審査を行った。さらにそれらを含め、ALTの採用体制、ALTの研修体制、教育プログラム等についての個別プレゼンテーションを実施するとともに、業務提案に対するヒアリングを実施した。

参加した5者の業務提案は、いずれも本プロポーザル実施要領及び仕様書に沿っており、プレゼンテーション及びヒアリングでは、明確な説明と質疑応答がなされていた。特に、参加者が提案する授業内外のALTの効果的な活用法方法や自由提案では、それぞれの特徴や長所が具体的に説明されていた。しかし、①ALTの質と量の確保のための採用体制が整っているか、②教員との事前打ち合わせ方法、③ICT活用やSDGs学習支援等の具体的な提案があるかについて評価が分かれ、第1次審査結果との総合点で、最高得点者であるA者を最優秀者として特定することとなった。

短期間の要請だったにもかかわらず、プレゼンテーション及びヒアリングは非常に円滑に行われ、真摯かつ意欲的な姿勢と、豊富な実績と技術力をもって愛西市のために貴重な提案を示していただいた5者に対して、審査委員一同敬意を表す。